

<p>【技術の名称】 DM (ダブルメタル) 工法 ー小口径先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第10-01号 性能証明発効日：2010年4月19日</p> <p>【取得者】 株式会社本陣 株式会社イトン 株式会社サムシング</p>
---	---

【技術の概要】

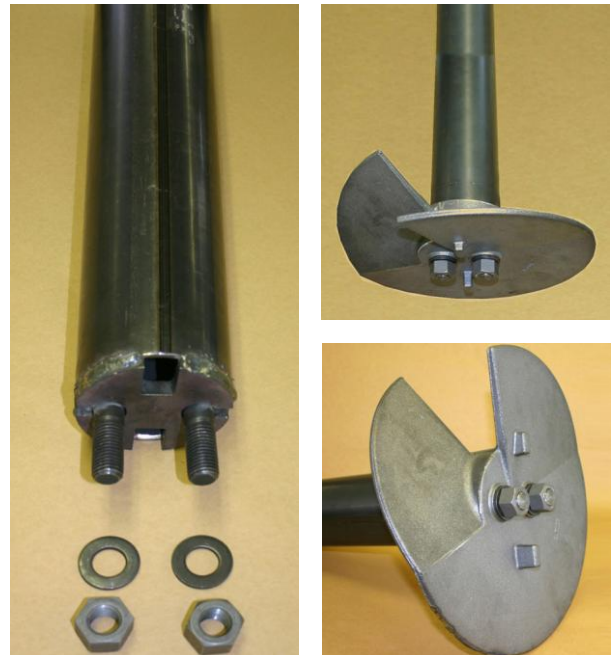
本技術は、小口径鋼管の端部に球状黒鉛鋳鉄製の螺旋状の翼部品をボルト接合したものを回転圧入することによって地盤中に貫入させ、これを地盤補強材として利用する技術である。

【技術開発の趣旨】

本技術は、補強材の軸鋼管と先端翼を現場でボルト接合する機構を備えることで、先端翼付き小口径鋼管の運搬性と接合部の品質の向上を意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

申込者が提案する「DM 工法 製造基準および施工マニュアル」に従って製造・施工された地盤補強材の許容支持力を定める際に必要な地盤の極限鉛直支持力は、設計基準に定めるスウェーデン式サウンディング試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できると判断される。



■ DM工法の鋼管と先端翼の組み合わせ

先端平均換算N値の範囲	鋼管の種類			先端翼の種類				許容鉛直支持力 Ra1 *2 (kN)
	鋼種	鋼管径 D (mm)	肉厚 tw (mm)	鋼種	拡翼率 シリーズ	先端翼径 Dw (mm)	板厚 tow *1 (mm)	
5 ≤ Navg ≤ 15	STK400	101.6	4.0~6.0	FCD450-10	3.0倍径	290	12	≤49.6 ≤99.2
					3.5倍径	350	12	≤72.2 ≤144.4

*1 板厚 (tow) は中心から103mmの位置における厚みを示した。

*2 許容鉛直支持力 (Ra1) の上段は長期許容鉛直支持力、下段は短期許容鉛直支持力を示した。

【本技術の問合せ先】

DM (ダブルメタル) 工法協会

事務局長： 早川 忠彦 〒461-0048 名古屋市東区矢田南三丁目 13 番 7 号(株)本陣内

TEL：052-722-3000 FAX：052-722-8311 E-mail：dm@honjin.cc